

100周年記念基金学術振興助成の申し合わせ

大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰および特別学術振興活動への助成に関しては、下記のように取り扱う。

1. 大会ならびに研究会における優秀論文発表の表彰に関する発表賞の配分について

1) 賞Aの配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞Aの研究会等へ配分を求めると、毎年過去1年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は3年間は固定し、3年毎に過去3年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表1-1のように各部門研究会ならびに部門大会に賞Aを配分することとする。

2) 賞Bの配分

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」の参考として添付した計算方法で賞Bの研究会等(＊)へ配分を求めると、毎年過去1年間の実績により変動する。しかし、毎年その算出をするのは煩わしいので、原則として表彰件数は3年間は固定し、3年毎に過去3年間の発表件数の実績に基づき見直すものとする。

従って、当面は表1-2のように全国大会ならびに支部大会に賞Bを配分することとする。

2. 特別学術振興活動への助成

「100周年記念基金学術振興助成規程細目」第2条(4)に定める特別学術振興活動への助成金の年約300万円については、各部門へ優先的に約250万円(50万円×5部門[準部門支援の考えでE準部門も含める])を充当するものとする。

(改廃等)

1. 平成12年4月7日、調査会議において一部改正。
2. 平成13年6月28日、調査会議において一部改正。

下の「注」は、平成12年10月11日、事業サービス課にて追記しました。

注:(＊)を付記した1-2)の研究会等は、正しくは「全国大会、支部大会等」です。

表1 - 1 賞Aの算出結果

	発表論文数				配分数 H13 15
	平成10年	平成11年	平成12年	平均(10 - 12)	
A部門研究会	1047	823	1081	984	17
B部門研究会	697	753	654	701	12
C部門研究会	496	437	413	449	8
D部門研究会	724	783	789	765	13
E部門研究会	144	155	161	153	3
東京支部連合研究会	103	117	118	113	2
研究会合計(1)	3211	3068	3216	3165	55
A部門大会	-	198	166	182	3
B部門大会	520	543	629	564	10
C部門大会	188	244	212	215	4
D部門大会	478	538	451	489	8
部門大会合計(2)	1186	1523	1458	1450	25
(1)+(2)	4397	4591	4674	4615	80

表1 - 2 賞Bの算出結果

	発表論文数				配分数 H13 15
	平成10年	平成11年	平成12年	平均(10 - 12)	
全国大会	1824	1867	1727	1806	40
北海道支部連合大会	416	406	346	389	8
東北支部連合大会	368	310	352	343	7
東海支部連合大会	740	798	779	772	16
北陸支部連合大会	398	413	449	420	8
関西支部連合大会	464	475	503	481	10
中国支部連合大会	406	451	440	432	9
四国支部連合大会	312	299	315	309	6
九州支部連合大会	872	814	829	838	17
支部大会合計	3976	3966	4013	3985	81